# テレビ受像機の製造等の事業を行う者の使用済物品等の発生の抑制に関する判断の基準となるべき事項を定める省令 （平成十三年経済産業省令第六十六号）

## 第一章　製造事業者の判断の基準となるべき事項

#### 第一条（原材料等の使用の合理化）

テレビ受像機の製造の事業を行う者（以下「製造事業者」という。）は、テレビ受像機に係る使用済物品等の発生を抑制するため、小型の又は軽量なブラウン管、筐体その他の部品等（部品又は部材をいう。以下同じ。）の採用その他の措置により、テレビ受像機に係る原材料等の使用の合理化を行うものとする。

#### 第二条（長期間の使用の促進）

製造事業者は、テレビ受像機に係る使用済物品等の発生を抑制するため、耐久性の高いブラウン管その他の長期間の使用が可能な部品等の採用、基板その他の部品等を異なる機種の部品等と共通の部品等にすることによる修理の容易化その他の措置により、テレビ受像機の長期間の使用を促進するものとする。

#### 第三条（修理に係る安全性の確保）

製造事業者は、テレビ受像機に係る使用済物品等の発生を抑制するため、原材料の毒性その他の特性に配慮することにより、修理に係る安全性を確保するものとする。

#### 第四条（修理の機会の確保）

製造事業者は、テレビ受像機に係る使用済物品等の発生を抑制するため、テレビ受像機の修理又は販売の事業を行う者と協力して、次に掲げる措置その他の消費者に対して修理の機会を確保するために必要な措置を講ずるものとする。

* 一  
  テレビ受像機の修理に係る条件その他の情報を提供すること。
* 二  
  テレビ受像機の修理に係る技術者を確保すること。

#### 第五条（安全性等の配慮）

製造事業者は、前各条に規定する取組によりテレビ受像機に係る使用済物品等の発生を抑制する際には、テレビ受像機の安全性及び耐久性その他の必要な事情に配慮するものとする。

#### 第六条（技術の向上）

製造事業者は、テレビ受像機に係る使用済物品等の発生を抑制するため、必要な技術の向上を図るものとする。

#### 第七条（事前評価）

製造事業者は、テレビ受像機の設計に際して、テレビ受像機に係る使用済物品等の発生を抑制するため、第一条から第四条までに規定する取組について、あらかじめテレビ受像機の評価を行うものとする。

##### ２

製造事業者は、前項の評価を行うため、テレビ受像機の種類ごとに評価項目、評価基準及び評価方法を定めるものとする。

##### ３

製造事業者は、第一項の評価を行うに際し、必要な記録を行うものとする。

#### 第八条（情報の提供）

製造事業者は、テレビ受像機の構造、修理に係る安全性その他のテレビ受像機に係る使用済物品等の発生の抑制に資する情報の提供を行うものとする。

#### 第九条（包装材の工夫）

製造事業者は、テレビ受像機に係る包装材に関し、安全性、機能性、経済性その他の必要な事情に配慮しつつ、使用済物品等の発生を抑制するため、簡素な又は軽量な包装材の使用に努めるものとする。

## 第二章　輸入販売事業者の判断の基準となるべき事項

#### 第十条（原材料等の使用の合理化）

自ら輸入したテレビ受像機の販売の事業を行う者（以下「輸入販売事業者」という。）は、テレビ受像機に係る使用済物品等の発生を抑制するため、小型の又は軽量なブラウン管、筐体その他の部品等の採用その他の措置がなされたテレビ受像機を自ら輸入して販売することにより、テレビ受像機に係る原材料等の使用の合理化を行うものとする。

#### 第十一条（長期間の使用の促進）

輸入販売事業者は、テレビ受像機に係る使用済物品等の発生を抑制するため、耐久性の高いブラウン管その他の長期間の使用が可能な部品等の採用、基板その他の部品等を異なる機種の部品等と共通の部品等にすることによる修理の容易化その他の措置がなされたテレビ受像機を自ら輸入して販売することにより、テレビ受像機の長期間の使用を促進するものとする。

#### 第十二条（修理に係る安全性の確保）

輸入販売事業者は、テレビ受像機に係る使用済物品等の発生を抑制するため、原材料の毒性その他の特性に配慮がなされたテレビ受像機を自ら輸入して販売することにより、修理に係る安全性を確保するものとする。

#### 第十三条（知識の向上）

輸入販売事業者は、テレビ受像機に係る使用済物品等の発生を抑制するため、必要な知識の向上を図るものとする。

#### 第十四条（事前評価）

輸入販売事業者は、自ら輸入したテレビ受像機の販売に際して、テレビ受像機に係る使用済物品等の発生を抑制するため、第十条から第十二条まで及び第十六条において準用する第四条に規定する取組について、あらかじめテレビ受像機の評価を行うものとする。

##### ２

輸入販売事業者は、前項の評価を行うため、テレビ受像機の種類ごとに評価項目、評価基準及び評価方法を定めるものとする。

##### ３

輸入販売事業者は、第一項の評価を行うに際し、必要な記録を行うものとする。

#### 第十五条（包装材の工夫）

輸入販売事業者は、テレビ受像機に係る包装材に関し、安全性、機能性、経済性その他の必要な事情に配慮しつつ、使用済物品等の発生を抑制するため、簡素な又は軽量な包装材が使用されたテレビ受像機を自ら輸入して販売することに努めるものとする。

#### 第十六条（準用）

第四条、第五条及び第八条の規定は、輸入販売事業者に準用する。  
この場合において、第四条中「販売」とあるのは「販売（自ら輸入したものの販売を除く。）」と、第五条中「前各条」とあるのは「第十条から第十二条まで及び第十六条において準用する第四条」と読み替えるものとする。

# 附　則

この省令は、平成十三年四月一日から施行する。

# 附則（平成一八年四月二七日経済産業省令第五〇号）

この省令は、平成十八年七月一日から施行する。